



第7回

日本の伝統文化である書道をもっと海外の人に見てもらいたい。インターネットを通じて世界何カ国もの人に毎日字を送り活動をしている書道家今日子さんにお話を聞きました。

FACEBOOKと出会い、活動の中心は海外へ
あるきっかけで私の字を海外の人に見てもらったことがありました。それはフェイスブックを通じてな

私の字が書きたい

書道と出会ったのは小学生の頃。「女の子は絶対字が綺麗でないといいけない」という母の強いすすめで始めました。しかしやらされている事が嫌でやめていました。高校時代、アルバイト先の奥様から暑中見舞いを頂き、それがとても綺麗な字で、その方の人柄を表すような字に感動しました。ああ、自分もこんな字が書けたらいいなと思ひ、大人になってから再び始めたのです。はじめは手本のとおりその字を崩さないで書いていくのですが、だんだん書けるようになって字を書く事が楽しくなってきた、自分の字が書けたらいいなと思うようになりました。

んですが、「こういう字を届けてくれてありがとう」という声をたくさん頂いたのです。フェイスブックを通じて日本の文化を海外に伝えていきたいなと思ひ、私の字とその意味を伝える翻訳を義姉に依頼しながら配信する作業を続けました。そのうち海外の方が日本を知るきっかけになること、日本語を勉強したい方が沢山いらっしやるのがわかりました。自分の自己満足で始めたことですが一歩踏み出した大きな領域に入ったような気がしましたね。
だからといって海外によく行っているわけではなくインターネットを通じての活動が主です。イベント等で一日に会えるのはせいぜい100人、200人までですが、ネットを通じてファン数は約5万人になります。フランス、アメリカをはじめインドネシア、フィリピン、タイ、インド、ブラジルな

ど約44か国の方々に見ていただいている状態です。殆ど英語かフランス語で読んでいただいています。毎日3000人ほどにページを見て頂き、あの時の書をここに飾っていますという写真付きの投稿を頂いたりします。そんな声を聞くと、本当にやって良かったなと思います。海外の皆さんの声が私の原動力となっているのです。
贈り物としての書
フランスで贈り物として一番多かった文字は『母』でした。依頼者は若い男性が多かったです。だけれども『言葉を送りたい』という気持ちがあるのだなと思ひました。そこにはすごいあったかいものが感じられました。自分自身も言葉を伝えるのは得意な方ではないので、相手に伝える手段、方法として書道に出合っって良かったと思っています。

今後の活動
発信力として、私一人では限界が来ると思っており、私の仲間を、書道家集団をつくりたいと思っています。伝統文化を守りながら書で何かを発信していきたいという方たちと一緒に活動を始めたい。私一人でできなかったことも三人四人集まれば三倍四倍それ以上になり、形が出来てきます。そして日本独特のものや無くなりつつあるもの、手が出せそうにないもの等のコラボレーション等ができたらいいいなと思っています。また、書道家さん(書きたい方)と、その「書」が欲しい方は海外には沢山います。そういう方を繋げていくマッチングもしていければと考えています。これも海外と日本とを繋げていくことになりそうです。



海外の人に「書道」を認知してもらおうこと
それが私の使命ですね。



書道家 今日子さん

プロフィール

書道家 今日子 大阪市出身
フランスはじめ海外に日本の書道を発信しており、現在FBページで約50000人のファンを持つ。
公式FBページ: <https://www.facebook.com/kyokosato.shodo>
公式ホームページ: <http://www.kyokosato.net/>



2014年7月にフランスで開催された第15回ジャパンエキスポでのパフォーマンスの様子



公式LINEスタンプ販売中
<https://store.line.me/stickershop/product/1004480/ja>